

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で78,000cells/ml、シャットネラ属が最高で440cells/ml、ケラチウム属(C.フルカ+C.フスス)が最高で60cells/ml確認されました。

**カレニア・ミキモイは、全ての観測点で被害が想定される細胞密度になっています。また、シャットネラ属は「水試小割前」を除く観測点で被害が想定される細胞密度になっています。**

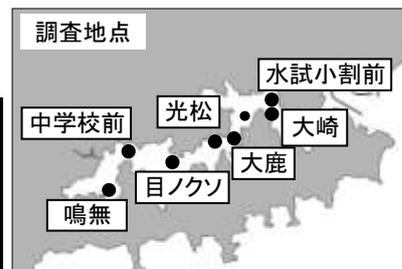
湾内は全体的に呈色しており、今回の観測点以外にもカレニア・ミキモイの極めて濃密な水塊が多く存在しています。

餌止めを行うなど、慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモイ	シャットネラ属	ケラチウム属	珪藻類
中学校前	0m	9,700	151	10	350
	2m	6,100	80	30	400
	5m	540	10	1	100
目ノクソ	0m	78,000	440	0	25
	2m	4,000	90	30	700
	5m	390	2	3	200
光松	0m	3,200	70	60	25
	2m	3,700	40	10	100
	5m	16	0	0	50
大鹿	0m	4,400	60	10	250
	2m	3,700	60	20	150
	5m	29	1	0	50
水試小割前	0m	18	2	1	700
	2m	450	1	0	500
	5m	780	0	1	800
鳴無	0m	8	95	20	
	2m	4,300	310	10	
	5m	22	3	0	
大鹿-水試中間	0m	48,000	40	0	
水試小割沖	1m	18,800	20	0	
大崎	0m	8,500	40	30	
	2m	540	10	0	
	5m	8	0	0	



**漁業被害が想定される細胞密度**

- ・カレニア・ミキモイ:  
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属:  
10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml(餌食いの悪化)